

いいからやってみて」と言  
ってくれたありがたさが身  
に染みだ。今度は自分が恩  
返しする」。デザインから

# る

完成まで数カ月かかるはん  
てん作り。時間も労力もか  
かるが「待っている人の期  
待に応えたい」という思い  
が原動力だ。

## ■「絆を纏う」

今、蜂谷さんたちは  
を通してできた新たな  
紡いでいる。衣装の復  
関わった郷土芸能団体  
感謝の意を込めて11年  
ろから同店の前で舞を  
するようになった。24  
は、復活を願う同店が  
りを寄贈した大植町の  
弁天舞舞が舞う。

2013/11/20

# 岩手日報

漢字は普通『半』を使  
うちは絆を纏うと書  
『絆纏』。染物屋の五  
揮できる場所があるなら力  
添えしたい」。震災を通し  
て生まれた絆を大切に育ん  
でいく。

(一関支社・佐々木理紗)

# メッセージ

## 先難避難児園

し、避難場所を移動しても  
現在地を知らせることが  
できる。保護者のアドレ  
スと避難先の情報などメ  
ールの文章は事前に登録  
する。  
メールが使えない場合を  
想定し、短文投稿サイト「ツ  
イッター」にもメールと同  
じ内容を自動送信する。自  
治体ごとにアカウントをつ  
くり、サービスを利用する  
保育所や幼稚園の避難先を  
まとめて把握できる。

普段はメーリングリスト

## 簡単、ツイッター



「短時間で簡単に避難先を発信できる」と話す奥浜正樹社長

大震災の津波で、園児や児  
童を引き取った保護者が避  
難途中に犠牲になったニュ  
ムも利用できるように改良を  
963・7799)へ。

## フィリピンへ善意

### 「同じ思い」募金開始

の人の  
高田  
前高  
田市  
のNPO  
陸前高田市のNPO  
法人桜ライン311  
(岡本翔馬代表)は、  
台風被害を受けたフィ  
リピンのために募金活  
動を始めた。同市は東  
日本大震災で多くの支  
援を受けており、被災  
地から被災地へ善意を

つなぐ。

【関連記事5面】

同NPO法人は大震  
災の津波を後世に伝  
え、二度と同じ被害を  
繰り返さないため、市  
内の津波到達点に桜を  
植樹している。  
台風で被災したフィ  
リピンは、津波被災地  
と同じような光景が広  
がる。被災に取り組む  
団体として「自分たち  
と同じ思いをしている  
人がいる」と支援を決  
めた。口座振り込みで  
の寄付を呼び掛け、フ  
ィリピン赤十字社に送  
る。岡本代表は「われ  
われも多くの支援を受  
けた。同じ被災地とし  
て、善意をつなきたい」

と協力を呼び掛ける。  
同市高田町の高田大  
隅つどいの丘商店街の  
飲食店「陸丸」に募金  
箱を設置。振込先は「岩  
手銀行陸前高田支店  
口座番号・普通206  
2070 名義・特定  
非営利活動法人桜ライ  
ン311」。

もぐらんぴあで

来月から冬企画

久慈・クリオネ展示

久慈市中央のもぐら  
んぴあ・まちなか水族  
館(宇部修代表)は12  
月1日から、冬の特別  
企画展を開く。津波で  
全壊した同市侍浜町の  
施設で通年飼育してい  
たクリオネを、震災後  
初めて展示する。

水槽のほか、世界の重  
話にちなんだ魚を展  
示。童話の世界をイメ  
ージした装飾もする。  
25日まではクリスマス  
スにちなんだ催しも実  
施。クラゲの水槽にク  
リスマスの飾りをした  
り、ツリーの飾り付け  
や手作りキャンドルな  
600)へ。

2部構成。第1部は  
昭和三陸大津波の被災  
体験を語り継ぐ田畑ヨ  
シさん(宮古市田老出  
身)の紙芝居「つな  
み」、田老一中3年生  
の語り部活動のほか、  
心理カウンセラーで日  
本国際民間協力会NI  
CCOの宗貞研さんが  
「心のケアと子ども達」  
と題して講演する。

第2部は宗貞さん、  
震災当時田老一中校長  
だった佐々木力也八幡  
小学校長、同じく同校生  
徒会長だった村井旬君  
(盛岡三高2年)らに  
よるパネル討論「復興  
の鍵は子ども達にあ  
る」などがある。  
午後1時~同3時45  
分。入場無料。問い合  
わせは同大地域防災研  
究センター(019・  
621・6448)へ。

# 清波てんぐんこ

題字・山下文男さん

陸前高田市高田町

氷上共鳴会氷上太鼓会長

鈴木武幸さん(65)

17日は創立20周年の記  
念公演を行った。

多くの皆さんの支



洋野町大野

# 奏